

実践問題5

2020年9月 問題16

第三分野の保険の一般的な商品性に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. ガン保険では、ガンによる入院により被保険者が受け取る入院給付金については、支払日数の上限がある。
2. 特定疾病保障定期保険は、保険期間中、特定疾病保障保険の支払事由が発生せずに被保険者が死亡した場合、死亡保険金が支払われる。
3. 限定告知型の医療保険は、他の契約期間が同一で限定告知型ではない一般の医療保険と比較した場合、保険料は割高となる。
4. 更新型の医療保険は、所定の年齢等の範囲内であれば、保険期間中に入院給付金を受け取ったとしても、契約を更新することができる。

4. 生命保険商品・第三分野の保険の必要な知識

●医療保険

入院給付金や手術給付金などが出る保険であり、支払限度によって保険料が違う
例えば入院日数の限度：180日と60日では、180日の方が保険料が高い

●ガン保険

ガン保険は入院日数に限度が無い

入院給付金が受け取れる

保険に加入した日から90日間はガンになっても保障が受けることができない（免責）

●特定三大疾病保障保険

がん・心筋梗塞・脳卒中で出る保険

診断されると保険金が出る（そこで保険は終了）

●先進医療特約

先進医療に該当するかどうかは、療養を受けるときに判断される

第三分野の保険の一般的な商品性に関する次の記述のうち、**最も不適切なものはどれか。**

1. ガン保険では、ガンによる入院により被保険者が受け取る入院給付金については、支払日数の上限がある。

ガン保険 より

不適切

● **医療保険**

入院給付金や手術給付金などが出る保険であり、支払限度によって保険料が違う
例えば入院日数の限度：180日と60日では、180日の方が保険料が高い

● **ガン保険**

ガン保険は入院日数に限度が無い
入院給付金が受け取れる
保険に加入した日から90日間はガンになっても保障が受けることができない（免責）

● **特定三大疾病保障保険**

がん・心筋梗塞・脳卒中で出る保険
診断されると保険金が出る（そこで保険は終了）

● **先進医療特約**

先進医療に該当するかどうかは、療養を受けるときに判断される

第三分野の保険の一般的な商品性に関する次の記述のうち、**最も不適切なものはどれか。**

- ① ガン保険では、ガンによる入院により被保険者が受け取る入院給付金については、支払日数の上限がある。
2. 特定疾病保障定期保険は、保険期間中、特定疾病保障保険の支払事由が発生せずに被保険者が死亡した場合、死亡保険金が支払われる。
3. 限定告知型の医療保険は、他の契約期間が同一で限定告知型ではない一般の医療保険と比較した場合、保険料は割高となる。
4. 更新型の医療保険は、所定の年齢等の範囲内であれば、保険期間中に入院給付金を受け取ったとしても、契約を更新することができる。